



2009年6月30日

各位

飯野海運株式会社
代表取締役 杉本 勝之
(証券コード：9119)

「経営報告書 2009」を発行
～「アニュアルレポート」と「安全・環境報告書」を統合～

当社は、「経営報告書 2009」を 2009 年 6 月 30 日に発行いたしました。これは、従来の「アニュアルレポート」と、CSR レポートである「安全・環境報告書」を統合したものです。報告書の統合の狙いは、幅広いステークホルダーの皆様へ、当社の全体像を総合的に理解していただくことにあります。統合報告書の発行は、既に 10 社以上の日本企業が行っていますが、海運業界では初めての取り組みになります。

「経営報告書 2009」は、「アニュアルレポート」「安全・環境報告書」のコンテンツをバランスよく盛り込み、「経営報告」「財務報告」「安全・環境性報告」「社会性報告」および「特集」の各章で構成されています。

「特集」のトピックスとして、不動産業では、建築中の（仮称）新飯野ビルの社会的意義やコンセプトについての、建替え計画に従事している社外の方を含むステークホルダーミーティングの様態を掲載しました。海運業では、これまでの「安全・環境報告書」における安全と環境を支える『人』に着目した特集を継続し、船舶の安全運航の現場の活動として、中東／極東航路の最大の難所であるマラッカ・シンガポール海峡に焦点を当てて、通峡の様態を紙面で再現しました。

従来の「安全・環境報告書」で採用していた、冊子版(印刷物)と Web 版(ホームページ)を組み合わせた報告を「経営報告書」においても継続します。従来同様、幅広いステークホルダーをターゲットとした簡潔で分かりやすい「経営報告書」(冊子版)と、環境・CSR 専門家等のニーズに応える体系的な情報や専門的な資料・データを入手できる【CSR 資料・継続的報告編】(Web 版)とで報告書は構成されますので、Web 版も是非ご活用ください。また、読者アンケートの実施による双方向のコミュニケーションにより、IR・CSR 活動の更なる向上を図っていきます。

本件に関するお問い合わせ先：

飯野海運株式会社

総務グループ

総務グループリーダー 広報・IR 室長 長命 渉

電話：03(5408)0356 FAX：03(5408)0469 電子メール：ikk_soumu2@ex.iino.co.jp

ステークホルダーリレーションズ マネジメント・調査グループ

安全環境室長 久末 昇

電話：03(5408)0373 FAX：03(5408)0383 電子メール：srm-1@ex.iino.co.jp